

3年生国際系乗船実習（16日から17日までの様子）



乗船実習も終わりに差し掛かり、テニス部の生徒2人が遠征で一足先に下船しました。「乗船実習で発見した新種の鳥は位置取り」と船長への挨拶は洒落の効いた新しいものでした。一同帽振れでエールを送りつつ横須賀に向かいます。

帰省・帰舎時に JF で通る東京湾ですが、実習では全く見方が変わってきました。北海道から来た製紙会社の船、自動車運搬船、私たちの生活は海路に支えられています。JF では疲れて寝ていますが、今回はワッチで練習した海図を見ながら航路を確認しました。東京湾がすり鉢状であることから、様々な海上法規が定められていること。大阪への航路も思い出しながらの復習です。横須賀沖に抜錨（ばつびょう）し実習は残り一日。

翌日は船内の大掃除をしながら大島に向かいました。着岸時には岡田の坂にある△のマークを目印にするなど、新しい大島の姿も発見できました。

実習前のご迷惑をおかけしないか心配した実習でしたが、船員さん・海洋科の先生方のご指導のもと、日々生徒が成長していく様子を見ることができました。普段コミュニケーションをとらない生徒が積極的に声をかけあう様子は頼もしかったです。ぜひ今回の乗船実習を糧に今後の進路活動にも取り組んでもらいたいです。2次乗船の生徒もよろしく願いいたします。Go ahead!

（文責 陣野）